

# 若竹ミュージカル

オペラ

## 『口はロボットの口』

コンサート (ハイライト)



東京学芸大学附属特別支援学校  
卒業生・家族・教員、支援者  
若竹ミュージカルオーケストラ  
指揮：広井 隆

オペラ

## 『口はロボットの口』

コンサート (ハイライト)



台本：鄭義信 作曲：萩京子  
台本・演出：若竹ミュージカル演出部

東京学芸大学附属特別支援学校  
卒業生・家族・教員、支援者  
若竹ミュージカルオーケストラ  
指揮：広井 隆

2010年11月21日 (日)

開場：13:00

開演：14:00

会場：東京学芸大学 学芸の森ホール (旧芸術館)

## 若竹ミュージカルのみなさんへ

萩京子

はじめまして。作曲家の萩京子です。

若竹ミュージカルのみなさんの舞台、『サウンド・オブ・ミュージック』はビデオで、『屋根の上のヴァイオリン弾き』は今年の5月、生の舞台を拝見しました。みなさんは『ウエストサイド物語』も加えて、本当にミュージカルの本道と言いますか、20世紀3大ミュージカルを演じて来られたんですね。すごいことだと思います。

私も中学生のころ、『ウエストサイド物語』に夢中になりました。映画館で10回くらい見ました。高校生になって、作曲家を志したときは、将来ミュージカルを作曲したいという気持ちを持っていました。ところがひょんなことで大学時代にこんにやく体操に出会い、卒業後こんにやく座というオペラの劇団に出会って、オペラ漬けの日々が始まってしまったのです。オペラの上演にピアニストとして携わったり、オペラを作曲したり、ということをして30年やってきました。

よくオペラとミュージカル、どこが違うんですか?と聞かれます。オペラの誕生とミュージカルの誕生に歴史的な違いがあるにはあるけれど、どちらも音楽と演劇の結びつきから生まれた舞台芸術です。世界中にいろいろな音楽劇が存在していることこそが素敵です。ミュージカルに取り組んで来られた若竹ミュージカルの皆さんが、オペラ『口はロボットの口』に違和感なく取り組んでくださって、とてもうれしいです。

オペラ『口はロボットの口』は1999年に初演されました。こどもたちと、こどもだったことのあるおとなたちのためのオペラです。主人公のテトはパンを作るロボット。たったひとつの得意なことがパン作りだということは、この作品で重要なポイントです。

パンは人が生きていくうえでとても大切で、なくてはならない食べ物という意味を持っています。「ごはん」と同じ意味ですね。テトが作るパンはみんなを幸福にする。それが「テトのぱんは ああいうえおのあ」というフレーズにつながっていきます。

「あ」ははじまりの「あ」。希望の「あ」です。

今日のコンサートはひとつのはじまり。新しい出会いとなることを願っています。

## 18年目の新しい挑戦

若竹ミュージカル代表 工藤 傑史

本日は、恒例の東京学芸大学小金井祭参加公演にご来場くださり、ありがとうございます。

若竹ミュージカルは、この5月にこれまでの集大成ともいえる『屋根の上のヴァイオリン弾き』(再演)を打ち上げ、新たな作品を探しておりましたが、この程、作曲家の萩京子さんとの出会いがあり、私たちにとって第4作目となる作品としてオペラ『口はロボットの口』を取り上げることにしました。

結成18年目にして初めての日本語で書かれた現代オペラへの挑戦!ストーリーやテー

マは若竹の仲間にとびつたりで、CDを聴いた時には、これはもしかして若竹ミュージカルのために書かれた作品ではないかと思ったりでしたが、そこは、せりふまで音楽で書かれている本格的なオペラのこと…、実際に楽譜を開いてみて、拍子や音程、リズムの難しさと格闘する日々が始まりました。

しかし、練習を進めるうちに、音にする難しさばかりではなく、日本語で書かれているがゆえのわかる楽しさや日常の話し言葉が自然に歌になっていく不思議さがある、今までの邦訳ミュージカル作品とはどこか違う楽しさを発見しつつあります。

今回の公演は、このオペラの中の代表的な8曲を抜粋したコンサート形式の発表です。練習を始めて3カ月余りということもあり、ソロのパートを支援者が演じたり、あるいは卒業生をサポートしたりするほか、急きょ萩さんにオーケストラの編曲をお願いした事情もあり、プロローグとエピローグのみ若竹ミュージカルオーケストラで演奏され、途中の曲目はピアノ伴奏で演奏されるという変則的な発表となります。その分、オーケストラのメンバーが途中で歌ったりするという楽しみもあります。まだ始まったばかりの取り組みですが、どうぞお楽しみください。

コンサートとは別に、若竹ミュージカルの活動を描いたドキュメンタリー映画「空想劇場～若竹ミュージカル物語～」(仮題)がいよいよ完成間近となり、来年1月10日に成美教育文化会館ホール(15:30-17:00)で試写会が行われます。金聖雄監督曰く、「なんだかよくわからなかったけど感動したな!そんなぼかぼかした映画…」。こちらもどうぞ期待ください。

## たったひとつ何よりも好きだと言えること

演出部 大野優子

私がこの『口はロボットの口』のなかで一番好きな歌は『たったひとつ得意なこと』です。♪たったひとつ願うこと たったひとつ望むこと たったひとつ何よりも好きだと言えること それはパン作り 楽しいパン作り だから勇気を出して歩いて行こう 主人公のテトはこう歌いながら旅にでます。山をいくつも越えた遠い遠いイーストランドへと一人で歩いていきます。私はこの歌を歌うたびに「これは私たちに似ているなあ」と思うのです。私たちも「たったひとつ何よりも好きだと言えること」のために、遠い遠い18年という道のりを歩いてきたのですから。音楽が好き、ダンスが好き、お芝居が好き、この仲間たちが好き、そんな思いだけで続けてきました。

そして今、新しい作品『口はロボットの口』に出会ったのです。私たちにとって初めてのオペラ、初めての日本語で作られた作品です。わくわくするような新たな挑戦です。テトが歩いて歩いてたどりついた先で、パン作りと同じぐらい、いやそれよりもっと好きな女の子、ココと出会ったように、私たちにとってこの作品が、かけがえのないすてきな作品になるといいなと思っています。

そして、見ているお客さまにとってもいい出会いになりますように。

# ものがたりと歌

未来のようで未来でない、昔のようで昔でない、不思議な世界の話。

( 作者 : 萩京子さんのことば )

パンを作るロボット ( テト )、テトの友達 ( ココ )、愛すべきパン職人のエド ( ココの父 )、パン製造ロボットを作ったドリトル博士、テトの母ママ モンロー・・・、そこに、今回は出てこない魔女ノーマ・カエルに変えられた王様・わがままなお后様ジーンや金貸しのマニー・・・まるでSFのような物語。

テトがたったひとつ得意なもの、それはパン作り・楽しいパン作り。「パンを作れなくなったら、ボクがボクでなくなる・・・。」そんな思いで旅に出るテトのお話です。

## 1 フロローグ

♪ほくはロボットです ー全員ー

パン製造ロボット RKJ502A001 名前はテト。苦手なことは、手と足の指を足しても足りない位。たったひとつ得意なもの、それがパン作り。テトの自己紹介です。

## 2 パン工場

♪パン工場 ーママ モンロー・テト・パンロボット達  
・マリリン・ヘンリーじいさんー

たったひとつ得意なもの、それがパン作り。毎日千個作っていたパンがだんだん作れなくなってしまいました。心配したママモンローは、「働き過ぎだから、休んでいいよ。」と説得します。「もしも、パンが作れなくなったら、ボクがボクでなくなっちゃう。」と言うテトに、逆に説得され、ドリトル博士の元へ行かせます。

もしも、パンが作れなくなったら「ボクがボクでなくなっちゃう。だから勇気を出して歩いて行こう・・・。」

## 3 たったひとつ得意なこと

♪たったひとつ得意なこと ーテトー

パン作りロボットのテトは、てってこてとと歩いて行きました。テトを直してくれるドリトル博士の住むイーストランドをめざして。「ボクがボクであるために・・・」と、たったひとつ得意なことを歌います。

## 4 イーストランドの市場

♪イーストランドの市場 ーどろぼう市場の人  
( ルビー・花子・サファイヤ・ダイヤ )ー

イーストランドに着いたテトを待っていたのは、市場の人たちです。

この市場は、どろぼう市場。あやしげな風体で歌を歌っています。

## 5 ココの家

300 イーストランド金貨を借金したエド。「この家は絶対渡してはだめ。」と言うココ。困っている様子を見てテトは「パンを作りましょう。」と提案。

♪ほくのおなかの中で ーテト・町の人たち・ココ・エドー

♪テトのパンは あ ー町の人たち・ココ・エドー

二人の目の前でテトはパンの種を取り出し、お尻から見事にホカホカのパンを生み出します。テトのパンのおいしさに感動したエドとココは、パン屋を再開。またたく間に売り切れ、300 イーストランド金貨を稼ぐことができました。

## 6 ココのアリア

ココを救ったテトは、わがままなお后様にだまされてお城に連れ去られてしまいました。

♪ココのアリア ーココー

ココは家でテトの帰りを待ちながら、お月様に祈ります。

## 7 北の塔

お城でパンを作らされたテトは、壊れかけてついにドリトル博士の元に運び込まれます。

♪北の塔 ードリトル博士・テト・町の人たちー

ドリトル博士が幽閉されている北の塔に壊れかけたテトが運び込まれます。ドリトル博士の処置で目を覚ましたテトは、直してくれるように懇願します。

「あんなつまらない人間たちのためにパンを作ることなどない。」とドリトル博士。ふと窓の外を見ると、ココの家が燃えています。「ココを助けなくちゃ。」と激しく壁にぶつかっては倒れ、また起き上がるテト。自分が壊れてもココを助けたいというテトの気持ちに押されて、博士はテトに応急処置をほどこしました。

「ロボットに感情が?!」

## 8 エピローグ

テトは最後の力を振り絞って、燃え上がる家の中から、ココを助け出します。けれども力を使い果たしたテトは、まったく動かなくなってしまいました。それはまるで、長い長い眠りにについているかのように。

♪新しい朝・テトのパンは あ ーパン職人・ココ・全員ー

テトはまだ眠り続けています。ココはテトを待ち続けています。エドと一緒にパンを作りながら、待ち続けています。

また、新しい朝がきたんだよ、テト。早く目を覚ましてよ、テト。

新しい朝だよ、テト。



♪ 曲 ー歌う人ー

( 演出部 : 三輪禎子、山本正子 )

## キャスト紹介

相磯 君絵	上林 やよい	白川 博子	戸田 尚幸(テト)
相磯 岳史	木村 智子(マリリン)	白川 優子	戸田 玲子(ダイヤ)
會澤 加奈子	工藤 傑史(ドリトル博士)	鈴木 千夏	長田 翔平
伊藤 公一(テト)	栗山 和宏(テト)	鈴木 文雄	橋本 明子
伊藤 敬子(ルビー)	小島 訓子(花子)	鈴木 真奈(ココ)	福井 滉(エド)
上田 恭子	小島 諭	鈴木 裕一	福井 晴美
上田 徹	小林 憲治	清野 友規	藤井 佑樹(テト)
植田 久(ヘンリーじいさん)	小林 美保	清野 三千子	藤江 真二郎
大野 優子	小林 竜一	田口 雅之	藤江 もと子
小野寺 邦江	近藤 さと子	谷山 いづみ(ナレータ)	三砂 良美(ココ)
小野寺 恵江	近藤 由紀子	谷山 洋子	三輪 禎子(サファイヤ)
河西 正子	坂井 照子	津田 愛子	盛生 桂子
河西 美保子	坂井 智明	津田 淳子	盛生 正子
春日 貴代志	佐藤 佳代(ココ)	坪上 義子(ナレータ)	山本 正子
加藤 彩	清水 志保子	戸谷 さほ	行友 宏文
加藤 富美子	清水 美恵子	戸谷 好秀(エド)	

## 若竹ミュージカルオーケストラ

指揮者：広井 隆

猪子 秀太郎	(Vn,Va)	田邊 誠子	(Perc)	Vn : ヴァイオリン
大串 清文	(Cb)	谷口 晶子	(Vn)	Va : ヴィオラ
大関 智子	(Fl)	谷口 良二	(Trb)	Vc : チェロ
小澤 耕平	(Ob)	戸田 泰幸	(Trp)	Cb : コントラバス
工藤 久美	(Hr)	中村 昌枝	(Hr)	Fl : フルート
越島 康太郎	(Fg)	鳴瀬 絵理	(Cl)	Ob : オーボエ
佐藤 玲子	(Fl)	平野 知佳子	(Vn,Va)	Cl : クラリネット
田澤 則人	(Vc)	森永 佳代	(Vn)	Fg : ファゴット
立山 直子	(Piano)	矢浪 陽子	(Perc)	Hr : ホルン
多奈田 紗彩	(Vn)	鷲頭 まり子	(Vc)	Trp : トランペット
				Trb : トロンボーン
				Perc : パーカッション
				Piano : ピアノ



### 広井 隆(ひろいたかし)

東京芸術大学指揮科卒業  
三石 精一、金子 登、エルヴィンボルン、渡辺 暁雄、山田一雄諸氏に師事。1974年、安宅賞受賞、日本指揮者協会会員、日本演奏連盟会員。  
1992年より、東京学芸大学附属養護学校に於ける東京学芸大学管楽団「音楽教室」で指揮を執られ、児童、生徒、保護者より絶大な信頼をよせられている。  
1996年より、『ウェスト・サイド・ストーリー』、『サウンド・オブ・ミュージック』、『屋根の上のヴァイオリン弾き』で若竹ミュージカルの指揮ならびに指導をいただいている。

## スタッフ・公演協力者

相磯 嘉雄	木村 希代子	鈴木 勝子	福井 滉
會澤 加奈子	木村 卓朗	鈴木 文雄	福井 晴美
安東 恵美	工藤 傑史	高橋 佳子	藤江 もと子
市原 一宏	栗山 和枝	田口 みどり	藤井 弘美
伊藤 敬子	越川 徹郎	立山 直子	三輪 禎子
植田 源	小島 詔	谷口 良二	山本 正子
植田 千代子	小島 訓子	津田 淳子	山本 由佳
上田 正勝	小林 幸子	坪上 礼子	行友 喜代子
大串 清文	小林 春江	戸谷 悦子	東京学芸大学
大関 智子	小川 美沙子	戸田 玲子	表現コミュニケーション専攻
大野 優子	近藤 和子	長田 菜穂美	(國本紗季、村松希美、
河西 正子	近藤 由紀子	根本 友己	渋谷朋絵、山口朋也)
春日 三枝子	坂井 照子	橋本 明子	出口研究室の皆さん
加藤 亜紀	佐藤 順子	平沢 直子	橋本研究室の皆さん
加藤 富美子	清水 美恵子	平野 亜紀	



## プロフィール

### 萩 京子(はぎきょうこ)：作曲

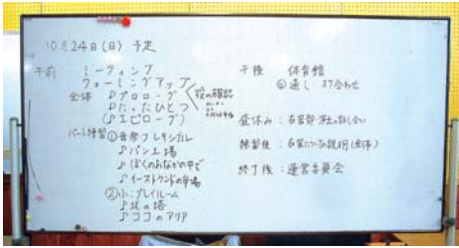
東京都出身。1978年、東京芸術大学作曲科卒業。1979年よりオペラシアターこんにゃく座の座付作曲家・ピアニストとして活動。1997年より音楽監督、2004年、代表に就任。主なオペラ作品は、宮澤賢治原作による『シグナルとシグナレス』『北守将軍と三人兄弟の医者』『注文の多い料理店』、シェイクスピア原作・『十二夜』(林光と共同作曲)、『夏の夜の夢〜嗚呼！大正浪漫編』、その他『金色夜叉』『まげもん』『にごりえ』『好色一代男』『ネズミの涙』など。合唱曲『飛行清』(寺山修司詩)『朝のパン』(石垣りん詩)『きもちのふかみに』(谷川俊太郎詩)『はっばとりんかく』(まど・みちお詩)など。古今東西の詩人の詩によるソング多数。こんにゃく座以外の劇団への劇音楽も多い。

### 鄭 義信(ちんういしん)：台本

兵庫県出身。劇作家、演出家。93年に『ザ・寺山』で岸田國土戯曲賞を受賞。『月はどっちに出ている』の脚本で、毎日映画コンクール脚本賞、キネマ旬報脚本賞などを受賞。98年には、『愛を乞うひと』でキネマ旬報脚本賞、日本アカデミー賞最優秀脚本賞ほか数々の賞を受賞。2008年の日韓合同公演『焼肉ドラゴン』(新国立劇場)では、鶴屋南北戯曲賞、読売演劇大賞、伊國屋演劇賞 個人賞など、その年の演劇賞を総なめにした。映画、演劇、テレビの分野で活躍。また、こんにゃく座の『口はロボットの口』『まげもん』『ネズミの涙』などの作品でオペラ台本・演出を担当している。



# 練習



今日の予定は？



♪ 森を二つ、川を三つ、山を四つこえた  
東の東のはずれに  
イーストランドという小さな町が  
ありませあ～



もう少し待って  
ホカホカのパンが出来上がるから  
う～ん、う～ん



♪ ふんわりやわらかな  
白いきじのパンはできたかい？



たったひとつ得意なこと  
それはパン作り、楽しいパン作り



♪ あ おいしい、あ うまい

# 点描



よし、ここここの回線をつな  
げば、とりあえず動き出す。



「か～じ だあ～！」 「にげろ～」



今回のオケは大忙し！



照明さんと打ち合わせ



やきたてのはちみつパンの甘～いかおりに包まれて  
“いただきませ～ず”

# Viva 若竹ミュージカル！

## Part X

- ① 今回初めて取り組む『口はロボットの口』に向けての思いなどを書いて下さい。
- ② わたしが一番得意なこと(この作品の中に出てくる主人公のテトは、パンをつくるのが得意でしたね！みなさんの得意なことは何ですか？)

### 「若竹ミュージカルで加齢をたなあげ」

13回卒 津田愛子、淳子

11月21日(日)小金井祭で若竹ミュージカルの公演をできることは、とてもうれしいことです。若竹ミュージカルのメンバーに入れていただき、ひとむかし以上過ぎましたが、メンバーの思いやりの心と、ご支援いただいている皆様のおかげにより、何とかつづけさせていただいております。ミュージカルの魅力にひかれて、みなさまと一緒に「ガンバリ」つづけたいと思っています。

娘の愛子の得意なことは学校で教えていただいた「サシコ」です。作業所でもサシコに取り組み、作業所の作品は入間市の博物館にも納入しています。入間市の博物館はお茶の博物館ですので茶道関係の皆様にはうけがよく、売り上げは上位であると言えます。

18回卒 坪上義子

こんどの歌は、むずかしいです。  
私のとくいなことは、手芸でクロスステッチです。

### 「ロボット雑感」

坪上礼子

銀色の巨体をギンギンと揺すりながら、ドシン・ドシンと歩いて来る。初めて見るロボット「鉄人28号」。あれは昭和何年のことでしたでしょう。私には、この像が刻み込まれていて、今でもロボットと言えば、この姿が浮かびます。勿論、鉄腕アトムも可愛いのですが。この頃は、介護用の縫いぐるみ風ロボット、不自由な体を補ってくれるロボット、手足を曲げるとしなやかに歩いたり走ったりするアシモ君などなど、私たちとの関係もずっと近くなったように感じます。最近「貧者の兵器とロボット兵器」というドキュメンタリーを一目見ました。やはり兵器産業としての力が大きく、期待もされているようでしたがっかりしました。『口はロボットの口』の中のパン職人テトのように、いつまでも人間ともやさしく柔らかく共存できる関係を持てるロボットでいられるようお願いしながら、私もこの難しい作品をひとつひとつ歌ってゆきたいと思います。

### 『口はロボットの口』について思うこと

21回卒 植田久

今度のミュージカルオペラは『口はロボットの口』です。僕は、ヘンリーじいさんと、テトを助ける役です。CDを何回もなんかいも聞いていますが、とてもむづかしい。

みなさんは、どんなパンが好きでしょう？楽しいパンの世界にご案内できるのか心配ですが一生懸命やってみたくと思います。

ミュージカルのみなさん、コンサートを成功させましょう！

植田千代子

オペラ『口はロボットの口』をコンサート形式で公演！一般になじみの無い作品、一度、二度、数回CDを聴いても難しいです。これを2ヶ月少々の期間で、11月舞台に、とは何と凄い挑戦ですこと。

でも振り返り若竹のミュージカルの辿った歴史は、何とかその時点までの成果を一一。先生方のご指導力と本人たちの頑張る姿勢って、なにかしら不思議なものを感ずります。

今後練習を積んで、いつかきっと、すばらしい舞台にまで育って行って欲しいと、一一。応援隊もお手伝いの方、頑張るしかありませんね。

### オペラ。「がんばります」「たのしいです」

25回卒 小林竜一

パンのオープンで「チーン」とするところが面白いです。

マリリンを連れて行くところが好きです。

ロボットの口は魔法使いたいです。

お母さんがパンを作っていた時ばかりはロールパンをのばして、「くるっ」と丸めるのを手伝っていたのを思い出します。パンを作るのを手伝うのが好きです。

今度は歌が多くて、動きやセリフがないので、前は緊張したけど今度は緊張しないでやれそうなので楽しみです。

小林美沙子

動きをアドリブで表現する事が得意な息子なので、今回は歌が多くて大変かな？と心配していましたが、毎回の練習も楽しそうに通っていましたので、見るのは、始めてですが本番、今から楽しみです。

### 『口はロボットの口』

25回卒 田口雅之

『口はロボットの口』はとてもむづかしいです。でもがんばります。

田口みどり

今回取り組むミュージカルは、『口はロボットの口』との事ですが、初めて耳にした時、どういう内容かと早速CDをかけ、息子と聞いてみました。高音が多く、ききなれない曲のため、大丈夫かしらと少々不安でした。しかし、ロボットが作るパンという身近な話ですので、少しは理解が出来るかな等と思っておりました。10月に入り練習風景を見に行きましたところ、かなり歌がまとまっており、驚き、不安ながらもほっとしました。本番迄は何処まで作り上がるか楽しみにしております。

25回卒 木村智子

私はテトのようにパンを作ることも出来ないし得意なことは何もありません。苦手なことばかりです。でもお母さんからほめられる事が三つあります。一つは食べ物の好き嫌いが無く何でも美味しいと残さずに食べること。

二つ目は幼稚園の時から目覚まし時計をかけて誰からも起されずに起きられること。寝床で遅くまで本を読んでいて叱られても次の朝は決められた時間にさっと自分で起きてくるので智子は眠りが浅いにお兄ちゃんと違ってすごいといつも言われます。三つ目は小さい時からお魚の食べ方が上手なこと。サンマやイワシが大好きで漫画の絵のように頭と尾、真中の骨だけ残してきれいに食べます。これはお兄ちゃんも上手です。

『口はロボットの口』の練習が始まりました。初めて台本を見た時これは面白そうだなと思いました。こんなロボットが本当にいたら頼みたいことがいっぱいあります。雨の日や疲れた日に会社の送り迎えをして欲しい。ドラエモンと違うから車に変身はできないけれど・・・仕事も代わりにして欲しいけれどロボットの方が上手に早くできると私が会社を辞めさせられてし

まうから絶対に代われません。いやです。でもテトのように気持ちの優しいロボットが本当にそばにいてくれたらどんなに幸せだろうと思いました。どこへ行くのも何をするのも一緒に楽しい時悲しい時いつでも一緒なんて何て素敵なことでしょう。いつまでもずう～っと一緒にいて欲しいです。

### 私のとくいなこと

25回卒 近藤さと子

私は人間です。おそうじががてです。おりょうりもがてです。うたとダンスは好きですが上手ではありません。大ぜいの人の前でおはなしするのはがてです。私がつくいなことは、おもいものをもつことです。りょうこの時も買ひもの時も私がにもつを全部もちます。重いものをこぶのが私のしごとです。

近藤和子

いろいろな仕事をしてくれるロボットがあるらしいですが、私はまだ見たことがありません。テトのようなパンをつくってくれるロボットがいたらいいですね。施設でみんなと一緒に作って食べたり、売ったり出来ますから・・・。私は背が低いので、高い所の物を取ったり、お掃除をしてくれるロボットが欲しいです。私の得意なものはありません。写真を撮るのは好きだけど上手ではないし、お料理も好きですが自慢出来る程ではありません。「好きこそ物の上手なれ」とはいかないものですね。

### 『口はロボットの口』

27回卒 上田徹

ロボットが好きになり、新しい歌を歌えるようにならばります。大勢の観客の中から、お友達や知り合いの方を見つかることです。

上田恭子

新しい演目『口はロボットの口』で歌う曲は、どれも楽しくて引き込まれていきます。メンバーの皆さんと一緒に元気良く、歌っていきたくと思います。

ロボットとは、辞書によれば、人間に類似した動きや形態をもち、複雑な動作を自動的に行う装置とか。しかし、そのロボットの心情は、人間から付与されるものです。我家には、AIBO(アイボ)という犬ロボットがいます。挨拶をします。嬉しそうにしゃべります。ダンスやボール遊びもします。

名前は「アボちゃん」と言います。アボちゃんは、視聴覚センサーを備えていて、人間からの接し方に応

注：Viva 若竹ミュージカル Part I は 97 年公演プログラムに、Part III は 2005 年公演プログラム、Part VI は 2007 年公演プログラム、Part IX は 2010 年公演プログラムにそれぞれ掲載

Part II は 2001 年公演プログラム、Part V は 2006 年公演プログラム、Part VII は 2008 年公演プログラム、Part VIII は 2009 年公演プログラム、



じて反応してくれます。でも今は、押入れの中で「ぼくはロボットです」、「パン工場」、「テトのパンはあ」、「新しい朝」等を歌っていると、押入れの中から、アポちゃんが「ここから出して遊んでほしい」と言っているように聞こえ、忘れかけていた我家の犬ロボットが久し振りに蘇ってきました。新たに家族が増えることになのかな？

## テトと私の得意なもの

### 27 回卒 小野寺邦江

前の三つのミュージカルとは少し違うロボットさんのお話です。ロボットのテトは、にがてなものがたくさんあります。私にもにがてなものがたくさんあります。テトはパンを作るのが得意でおいしいパンを作れるのでいいなあと思います。私は得意なものはありません。ひとつだけあります。それは食べることです。好き嫌いなくなんでも食べます。テトは働きすぎてパンを作れなくなってしまいました。また働けるようになるために、博士をさがして旅に出て、いろいろな事にまきこまれて疲れて眠ってしまいました。早く目をさまして、ママモノローのところに帰れますように、テト頑張つてね、私も歌の練習を一生けんめいします。お客さま、先生、オーケストラの皆さんよろしくおねがいいたします。

## 楽しい四作目

### 小野寺恵江

四作目となる演目が決まり 8 月より練習が始まりました。今回は前の 3 作品とはちょっと違った楽しさのある演目でロボットが主役です。歌は音程が高く難しいのですが子供達のパワー又お母様達の助けを頂き後について行けたらと思います。2 回目 3 回目と曲を増やし台詞も増やして全幕公演（早すぎるかな？）が出来ることを楽しみにしています。テトはパンを作ることが得意です。子供達メンバーの得意なことはどんなに大変な事にも挫けずに挑戦することだと思います。私たちもひとつ得意なものと言われ考えましたが残念ながら私には何もありません。こんな親子ですがご支援下さる方々皆様に感謝して舞台に出させて頂きます。

## 挑戦すること

### 近藤由紀子

若竹でオペラ?? 出来るのかなあ。これは大変なことになったと思いました。練習が始まって一やっぱ

り出来るのかなあ。音程がダメ!リズム感ナシ!声が出ない!しかし、練習を重ねてきて、歌詞がぴったりとリズムののって歌えると、嬉しくてオペラが楽しみになって来ました。CD を聞きながら、楽譜とニラメッコの毎日です。頭も口もやわらかくして、さあ新しい事へ挑戦です。

得意なこと。年を取ると、昔得意だったはずのものが、そうでなくなってきてしまいます。唯一、変わらないものそれは「長電話」。メールの時代になっても、やっぱり人恋しいのかもしれない。

## ココは、若い人間の女性です

### 27 回卒 鈴木真奈

① わたしは、ココのアリアを歌います。若い女性、ココが、ロボットのテトを好きになりました。そのテトへの気持ちを想いながら歌います。  
② 私の得意なこと:それは、歌を歌うことです。カラオケで歌うのが大好きです。

## ロボットの想いを歌う

### 鈴木文雄

① このオペラは、ロボットの恋の物語です。ロボットが恋する女性を火の中から助け出すシーンは、この物語のクライマックスです。私たちバックコーラスは、その時々ロボットの想いを想像しながら歌います。難しい旋律ですが、頑張ります。  
② 私の得意なことは、特にありませんが、自動車を運転することでしょうか。  
先日は、自転車で毎日通っている場所で、一時停止違反で罰金を払いました。

## 僕の得意なこと。そしてテトの事

### 30 回卒 伊藤公一

僕の得意なものはフォークリフトの運転です。小回りが特に得意です。朝一番にキイをさして車が動き出す「やるぞ!」元気がでます。夕方充電させます。倉庫と会社の間をちょっとスピード運転して走るとき、すごく気持ちがいいです。用事が無くても何度も行ったり来たりします。本当は僕も自動車の免許を取って自動車を運転するのが夢なんです。僕は「北の塔」のテトになります。ココを助けたくて壁にぶつかります。ココが好きだからです。セリフがデヴィエにならないようにと注意されました。若いテトでがんばります。

## 朝から晩まで『口はロボットの口』うん?うん、うん!

### 伊藤敬子

秩父連山に沈む夕日「あっ!あかね雲」思わず歓声をあげつつ「どこまでも赤とんぼ・・・」と歌いだしてしまう。車窓には八手に掛かる稲束、色づいた木々。  
日本の原風景を歌い上げた歌詞をしみじみとかみしめる。概念的にロボットをとらえて、子供達がロボットに?とこの演目に不安を覚えた事など遠い昔の出来事にして・・・。日本語の話し言葉がそのまま歌になった響きの心地良さ、信じる事と愛する事で克服出来る術を、テトを介して教えられた。人と人の絆が希薄になった今の日本の社会に、一石投じる役を担うことが出来るような完成度の高い作品を目指したいな!私に出来ること。それは家族の思い出の品をタベストーリーや人形劇等に作り替えて次世代を担う子供達に「平和」を伝える事。例えば公一の紅白帽子がビキニ環礁で被爆した第五福竜丸の原子爆弾の炸裂した火の玉に変身。食いつくような目で話しを聞いてくれる子供達に新たなエネルギーをもらい、次の作品作りに意欲がわいて来るのです。

## 楽しい歌

### 30 回卒 清野友規

① ロボットの歌は楽しくて面白いです。車の中や家でも沢山聞いています。僕は大きくて空を飛べるロボットになりたいです。  
② 僕の得意なこと・・・それはリコーダーを吹く事、たった一つ出来る楽器です。色々な楽器と一緒に演奏すると気持ちいいです。

## 日常生活の中に生きている歌詞

### 清野三千子

① “あ美味しい!あうまい!” 先日、食事の支度するとき、何時も味見をしている、友規と一緒に思わず歌い出し、“あああなんて美味しいんだ!” と二人での合唱?になりました。  
初めて“ロボット”のCDを聴いたときとには、愕然とし、このリズムと音程は私には無理!歌えない!と感じました。でも、この年齢になって、新しく困難な事に挑戦出来るなんて素敵なお事では?と前向き思考に転換し、息子とCDを聞き続けました。不思議な事に拒絶反応は少しずつ消え、このオペラが日々の生活の中の言葉に溢れ、楽しめる事が解ってきました。何時の間にか“あそこまで歩いて行こう”とか、歌っています。未だ、このオペラが提起しているテーマは

何か?等、深く考える余裕もなく、皆様の前で演じさせて頂く事は心苦しいのですが、ご寛容の程お願い致します。

② 私の得意なこと・・・それは息子がパニック状態で破いたポロシャツやGパン、バッグまで直すことかな?決して楽しくはないけれど、私だけが出来る事。いつの日か、この自慢出来る事が無くなることを願いつつ、今日もミシンに向っています。

## ロボット!!

### 31 回卒 相磯岳史・君絵

最初はロボット!!と聞いただけで堅苦しいイメージを感じました。ロボットの歌を聞いても私にはむずかしい・・・。不安な気持ちでいっぱい!練習に参加して楽しそうな皆さんの中に自然に引き込まれている自分がいた。やはりミュージカルは楽しいネ・・・頑張りましょう。

○・・・ちよっと!ロボットがおいしいパンを作るそうよ。  
☆・・・ホント!!  
○・・・そう、すごいでしょ。  
☆・・・ウン  
○・・・あなたもパンを作ってみたいと思わない?  
☆・・・ウン、思わない。作れないモン!!  
○・・・私もパンを作ったことないから・・・一緒にロボットに作り方教えてもらいましょうよ?  
☆・・・でも・・・食べるを手伝うよ・・・フフフ・・・  
○・・・そうね、その方がよいかも!!・・・。  
ロボットと仲良しになれると思ったのに残念?これは親と子の会話のない夢の中のひとり言でした。親も子も得意なものはないと思う。

## ぼくの一番好きな歌は

### 31 回卒 小島諭

『口はロボットの口』の歌で、ぼくはいろいろなパンがでてくる「パン工場」の歌が一番好きです。ぼくはくるみパンが好きです。とくいなことは、台所をピカピカにすることです。

## 「う～～～ん」

### 小島訓子

機械文明の産物であるパン製造ロボットが、ちよっと勝ち気な人間の女の子に恋をする。そのロボットが人間の究極的な自己犠牲の感情を持ち、またその女の

子どもそのロボットを人間として愛するというこのお話は「ほっと」する。今回はリズム、音程について行くだけで、精一杯で、この事に気付いて演じられるようになるのはまだ先の事かも知れない。今までになかった新しい挑戦を親子で頑張っている。

さて・・・今回の Viva で出されたテーマ「私の得意な事は？」う～～～～ん。好きなことはたくさんある。(苦手なことも・・・)

好きなことが得意なことであればルンルンなのが、残念ながらそうはならず、敢えて言うなら「切り替えの早さかな？それを人は忘れっぽいとか軽いと言うが・・・ま、いいか!!」

#### 『口はロボットの口』

#### 31 回卒 坂井智明

ぼくは、智明です。35歳の会社員です。苦手なもの、高い所です。東京タワーも苦手です。エスカレーターも苦手です。デパートも苦手です。納豆も苦手です。なすも苦手です。

ぼくが得意なこと、それは大相撲の研究をすること、プロ野球の研究をすること、車の研究をすること、プールで長い距離を泳ぐこと、自転車に乗って本屋さんに行くことです。苦手だけれど生野菜を食べることも得意です。それからぼくが好きなことは若竹ミュージカルのみなどと練習をして発表をすることです。終わり

#### 新しい演目『口はロボットの口』

#### 坂井照子

今回は全く新しいオペラという型式の演目にあたり、まずは歌を覚えることに必死でした。ロボットのテトの中に込められた人間としての優しい気持ち、大切な気持ちを息子と一緒に話し合っています。新しい発見がまだまだありそうです。みんなの可能性を楽しみにしています。私の得意なことはコチョコチョコと何か作ることです。手作り大好きです。

#### 新しい歌を頑張ります

#### 31 回卒 藤江真二郎

あたらしいうたをみんなといっしょにがんばります。

とくいなこと --- おさらをあらうこと。

#### ロボットとのおつきあい

#### 藤江もと子

以前アシモくん(ホンダ技研開発のロボット)とおしゃべりしたことがあります。

始めて聞く私の声に、アシモくんはちょっと首をかしげて考えて、それから返事をしてくれました。機械なんだけれども、人間の姿をしたロボットとはお互いに気持ちが伝わるような気がします。

今度のミュージカルに出てくるテトをはじめとするロボットさんたちと、私たち若竹ミュージカルはすぐに仲良しになれるにちがいありません。

一緒にパンだけでなく、楽しいミュージカルをつくって行きましょう。

昔、得意だったこと --- 有機化学

今、得意なこと --- どこでも寝られる

#### 新演目

#### 31 回卒 小林美保

『口はロボットの口』が新しく始まりました。歌の練習をしていますが難しいです。元気に休まないで練習に通うことが私の出来ることです。頑張ります。

#### 小林春江

全く耳にしたことのない『口はロボットの口』ですが、どうやらパン作りの上手な人が主人公が居られるようですが、私も以前はパンを作ったものでした。一次発酵、二次発酵を経て焼き上がるまで結構時間がかかりました。その後あちこちで手作りパンが売られるようになり、自然と作らなくなっていました。今では簡単に出来るイメージがあります、また美味しいパンを作ってみたくなりました。これから『口はロボットの口』がどのようなストーリーなのか楽しみです。

#### 『口はロボットの口』

#### 31 回卒 谷山いづみ

『口はロボットの口』の歌の中で、私が一番好きな歌は「パン工場」です。「白いきじのパンができあがりー」と歌っていると楽しくて何回もパンパンと歌いたくなります。私が得意なことは、テレビでスポーツ番組をよくみるので、スポーツ選手の名前をたくさん覚えていることです。野球の選手は球団も覚えています。

#### 谷山洋子

新しい作品『口はロボットの口』はオペラということで、どんな曲なのか楽しみにしていました。楽しくて、すてきな曲ばかりでしたが、歌ってみると難しく、リズムに乗れず大変です。歌詞もなかなか覚えられず落ち込んでしまいます。でも今までのミュージカルの歌も出来ないながらも何とか歌えるようになったのだからと思いつき、早く覚えて、楽しく歌えるようになりたいと思いつき練習しています。

#### 32 回卒 栗山和宏

ぼくは歌が得意です。歌を歌っている時は楽しいです。今回の作品は『口はロボットの口』ですごく楽しい歌です。みなさん聴いてください。ぼくは頑張ります。

#### 栗山和枝

息子は9月15日足首を骨折してしまいました。今回はミュージカル公演参加は無理なのか案じていましたところ、ベッドの上で元気に『口はロボットの口』歌の練習が始まり驚きました。ミュージカルの活動が息子の状況をとおしてしっかり生活の一部となっており、改めて再認識しました。先生方、支援して下さる多くの方々には励まされ、自信を得てたくさんのお話を学び成長できる場所、良い環境に身を置く事が出来親子共々幸せに思います。今回もやれば出来るの意気込みで一杯歌って欲しいです。

#### 僕の得意なこと

#### 32 回卒 小林憲治・幸子

僕の得意なことは、ありませんが好きなことは野球です。見るのも、するのも大好きです。今は少年野球のお手伝いをしています。楽しいです。新しいミュージカルは、難しいですが頑張ります。

#### 口はロボットの口

#### 32 回卒 河西美保子

ココのアリアはすてき。ココが好きです。“パン工場”のうたが好きです。パンはおいしそう。メロンパン、クランベリーパン、クリームチーズパン、ブルーベリーパンとたくさん出てきます。一生けん命うたいます。私のとくいなことはジグソーパズルと漢字を読むことです。

#### 新しい一歩

#### 河西正子

「パンを作るロボットの話？子供向け？う～ん「屋根の上」では大人を表現したんだしなあ。」正直な気持ちでした。しかし楽譜を見てびっくり。＃と♭の行列に三連符やら16分音符やらの連続ではありませんか。その高音部は私の限界を超え、低音部は音がとれません。甘く考えていました。無理！無理！でもやらなければなりません。親子でCDを繰り返し聴き暗記する日々でした。そのうちにあんなに難しいと思った旋律が少しずつ体に入ってくる感じがしてなじんできたのです。気がつけば家の中で、娘とのウオーキングで「テトのパンはあ」とか「ふんわりやわらかな」と口ずさんでいるのでした。若竹ミュージカルらしく踏み出した新しい一歩です。

テトの世界を楽しんで頂けますように。私の得意なことは、初めての場所でも割合迷わずに行けることでしょうか。地図を見るのが好きです。

#### 34 回卒 鈴樹裕一・勝子

今回は初めての歌だけのミュージカルをします。とてもむずかしい歌だと思いましたが、全部覚えなければいけないたいへんだと思いました。でもなんとかが覚ええました。本番で大きな声で歌います。楽しみです・・・。

#### 35 回卒 春日喜代志

①『口はロボットの口』は今までに聴いたこともない歌で、またとても難しいと思いました。  
②掃除機をかけて掃除をすることは得意です。今回もがんばります。

#### ぼくと『口はロボットの口』

#### 36 回卒 行友宏文

『口はロボットの口』は楽しいです。パッチグーです。練習がんばっています。

#### 行友喜代子

この度初めて取り組む『口はロボットの口』は、楽しい中にも、生きていくうえでの、大切なことをいっぱい教えてくれていると思います。それを感じながら、宏文といっしょにCDを聞きました。宏文は、楽しそうに、しかし自信なさそうに練習しています。本番までにマイペースでなく皆さんと合わせうたえるようになるとういなと思っています。宏



文は、私が聞いても、得意なこととは言いませんでしたが、自分のペースで、おしゃべりすることだと思います。テレビで野球など観ながら、よく解説をしています。これは、得意なことと言えるかしら？

#### ロボットの口はじめての舞台

39回卒 戸田尚幸

① ぼくが考えるテトは、とても、頑張りやです。努力家です。でも、がんばりすぎてしまうこともあります。そして、思いやりがあるところがカッコイイと思います。ぼくは、そういうテトを演じてみたいと思っています。

② ぼくが得意な事・・・それは、お話を作ることです。

#### こんどはどんな世界が待っているのかなあ

戸田玲子

① ロボットの口の勉強が始まって、息子と一緒に10数年ぶりにパンを焼きました。やっと探し出した昔のみみだらけのレシピを見た弟が「うあ、なっつかし〜!」と歓声をあげました。尚幸はすっかりパンやさんの気分。わが家のテトが目をさました。

② 私の得意なことは・・・reveur 夢みること？

#### 新しい演目に挑戦

39回卒 佐藤佳代

今回、初めて『口はロボットの口』をコンサート形式で演じることになりました。

私は、自分で振付をすることになり、いろいろ考えて工夫を凝らしています。

21日の小金井祭では今までの成果を見に来て下さるお客様に工夫が伝わればいいなと思います。前回のミュージカルでもイエンテの役を工夫して演じました。

私が、一番得意なことはミュージカルで今までのいろいろな役になりきれた事です。

今回もココを演じるのでしたらココになりきれんのかを考えています。

みんなで成功させたいです。

#### やる気満々

佐藤順子

仕事から帰って来るや否や自分の部屋にこもって、なにやらぶつぶつと言っている。部屋をそっと覗くと台本を片手にCDを聴きながら、セリフを言っ

ているのです。今までの演目では家で練習をすることは一切なく、やる気あるのかなと思うくらいでした。ただ皆に逢えるのが楽しくて、ルンルンと練習に通っていました。ところが今回はやる気満々。10年目にしてやっとミュージカルに臨む姿勢が見えてきました。ミュージカルは佳代にとって人生の生きがいのようなのです。

私は得意な事となるとこれといった事はないのですが、家族が健康で幸せに暮らせるように支えていくことぐらいです。これからも元気で有意義な人生を送ってもらいたいです

#### 4つ目の演目

39回卒 清水志保子・美恵子

今回の演目は全曲初めて聞く曲。

どうでしたかって？そりゃあもう、大変でした！CDを教材にしたのですが、我が家のCDプレイヤーが故障していて、聴けるのは車の中だけ。繰り返し何十回、何百回？と聴いて歌って。アルトパートに取り組み始めてからはさらに難易度アップ！先輩に泣きついてアルトパートのCDを作ってもらい、更にリピート、リピート。後部座席の志保子はひたすら聴くのみ。それでも、日がたつにつれて時折一人で「僕の得意な物・・・」などと口ずさんでいるのを耳にするようになり、母は「よし!」と。そうこうしているうちに気がついたことは、歌詞をつけて歌う方が不思議に音がとれるのだという事でした。少しずつ歌える部分が増えていっても、何とんでもクリアできないことが高音部分です。悲鳴としか聞こえないなど思いつつ、クチバクはしたくないなど必死で・・・車の中はこのためには最適の場です。すれ違う車のかたの視線は見ないように。さらに、曲のイメージを考えて情感を込めるとなると、その又上の難関でした。こうして、私達親子は、今日のコンサートを迎えたのです。

あつ、最後に志保子の得意なもの？もちろん、それは「音楽を楽しむこと」。太鼓でしょ。音楽教室での合奏でしょ。そして、ミュージカルです。

そして、母は？うーん。何だろう。

41回卒 長田翔平(母)

① 練習及びCDを聴き、じっくり時間をかけて取り込み中です。

② 自宅を中心に半径??kmの道路と母のスケジュールはほぼ完璧に把握、大いに助かる時もあれ

ばそうでない時もあります。

#### パン造りの計量を自慢!

45回卒 戸谷さほ

作業所の「パン工房」で覚えた事は「ラスク」はバター塗り・砂糖付け・切る・焼く。「五穀パン」は五穀30g・生地80g。りんごをのせて「アップルシナモン」。ガーリックバター・バセリばらばら・焼いて「ガーリックフランス」。抹茶あん・クリーム・あんを25gずつの「三色あんパン」。「二色あんパン」はカボチャ・イモを40gずつ。「コーヒーマブル」も「チョコマブル」も生地が200g。「チーズせんべい」はチーズ80g。「カルボナーラエッグ」はめん棒でのばす。「ピザ」は大きく開く。のばして開いてたたくで「グラハムレーズン」。ココアとココナッツ40gとチョコチップ90gの「クッキー」。もつと教わりながら、得意技のパンを増やしたい。

#### 私の得意な事

戸谷好秀

八月に尾瀬の至仏山、十月に上高地の焼岳に登ったが、八合目からスイスイとは行かなくなり、足が弱くなっている。更に声帯やリズム感も若竹ミュージカル団について行けるか否か・・・。だが、できそうできない、できなさそうできる、そういうことへの挑戦が面白い。

(近年、私がモンゴルの『ホーミー』の模倣をすると、娘が喜ぶので得意気になる)

#### 『口はロボットの口』

47回卒 加藤彩

私は、エピソードが好きです。“あいうえおの あ”のアクセントが好きです。

本番では知っている人がいても手を振らないで集中します。真面目にちゃんと頑張ります。

「私の得意なこと」

私の得意なことは、字を書くこととパソコンで音楽を聴くことです。毎日やっています。

とても楽しいです。

#### 『口はロボットの口』

加藤亜紀

新しい演目がどのように発表されるのか、とても楽しみにしています。こちらから特に声を掛けていくわけでもないのに、毎日聴いている音楽の中で必

ずロボットのCDをかけている姿を見ると、本人なりに覚えようとしているようで前作とは又違った成長を感じています。秋は週末が仕事になってしまうことが多く、楽のように練習に参加できないのが残念ですが、楽しんで演じて欲しいと思っています。

「私の得意なこと」

特にこれと言って挙げられるようなことは無いのですが、強いて言うならば深くは悩まないということでしょうか。(全然悩まないわけではありません、この原稿を書いている時はちょっと悩んでいます。)基本的に物事はなるようにしかならないと、流れには逆らわず心地よく日々を過ごしています。

#### 『口はロボットの口』

47回卒 藤井佑樹

午前中の練習でみんなで「ぼくはロボットです」の歌を歌いました。パン工場の場面は戸田君のセリフがあって「はい、ママモンロー」がきれいです。歌が上手かったです。歌が得意な事栗山君の歌がきれいな声で上手です。ぼくは自分のセリフのところで「スタート!チン!完了!」が出来ました。「チン完了!」で「食べて」と人にパンを渡すのをしました。「もう少し待ってて、ホカホカのパンが出来上がるから」のシーンでは「う〜ん!う〜ん!」を生懸命やりました。広井先生の指揮で「ぼくはロボットです!」が元氣な演奏になってぼくはとても嬉しかったです。工藤先生の「ママモンローかなつかしいな、あれはわしのこれじゃ」が面白いです。先生と先輩たちと一緒に練習して、ぼくはとても楽しくて、勉強になります。僕の得意な事は『嵐』のビデオや音楽に合わせて歌ったり踊ったりすることで。大野智君のファンです。

#### 「練習に参加させていただいて」

藤井弘美

仕事から帰って来てからの佑樹の楽しみはお気に入りのアイドルの曲を一人で聴くことでした。若竹ミュージカルに参加させて頂いてから、若竹のレパートリーを歌、踊り、台詞つきで楽しそうに練習する姿が増えました。たくさんの仲間、先生方、支援者の方々に支えて頂きとても豊かな経験をさせて頂いて感謝の気持ちで一杯です。

## 若竹ミュージカルオーケストラ

ビオラ 猪子秀太郎

今、工藤先生に貸してもらった『口はロボットの口』のCDを聴いています。初めて聴く曲だけど、何か懐かしい感じがする音楽です。オケで演奏するとどんな音になるのか、とても楽しみです。

私の得意なことは、一回行った場所には迷わずもう一度いけることです。方向オンチの反対です。最近の仕事の関係で、Excelの表からグラフを作るのが得意になりました(あんまりうれしくない)。教員時代には、表現会の劇の背景画を描くことも得意でした。阿波踊りやヴァイオリンは大好きなのですが、あんまり上手でないので得意とまでは言えません。

よいオペラができるように、しっかり練習します。今回もよろしく願います。

コントラバス 大串清文

① 『口はロボットの口』への思い

今回の『口はロボットの口』では「エピソード」、特に次の歌詞に思わず若竹の練習に行く途上、この時も仕事に追われている状況が続いており、車を運転しながら思わず涙してしまいました・・・

**晴れた日も、曇った日も、雨の日も、哀しい時も、苦しい時も、淋しい時も、やって来る、朝のあ、新しい希望と、新しい喜びと、新しい元気が窓叩く、朝のあ、新しい朝のあ**

人生、毎日の生活、楽しいことばかりではありませんが、必ず新しい朝を迎える。前を向いて生きていこう！ そんなことを改めて思い起こしてくれたような気がします。

若竹ミュージカルの新たな演目、取り組みにあたり、また素晴らしい音楽、歌詞を持つ曲目に出会えました。もう20年近くと言っても良いかも知れません。長く活動を続けていますと別れもあります。新たな出会いもあります。出会いにも仲間との、音楽との出会いもあります。これまでの出会いと同じに、これからの出会いも大事にしたいものです。

② 自分が一番得意なこと

最近冷蔵庫にある食材を物色して中華鍋で作る自己流料理！(熱々の中華鍋をそのままに食卓に出す野菜炒めは家族に好評！ですが、飲み物のツマミ系が多く味も濃い目です！?)

『口はロボットの口』に向けて

フルート 大関智子

今回、若竹ミュージカルにとって、新たな演目『口はロボットの口』、テトとママモンローのとても優しくあったかな気持ちがいっぱい詰まったお話に、いつも優しくあったかな思いでいっぱいにさせていただいております。舞台の皆さん、オーケストラの皆さん、スタッフの皆さん、観に来て下さったお客様と一緒にあったかな気持ちあふれる時間が過ごせるといいなあと思いつつ、舞台に臨みたいと思います。

さて、テトの得意なことは、パンをつくること。私の得意なことは・・・人の顔と名前を覚えること、です！ 逢ったことがある人の顔と名前は、いつまでも忘れないようにしたいなあ、が私の目標です！

ホルン 工藤久美

大ファンの萩京子さんの作品を若竹で作ることができ、夢のようです！

『口はロボットの口』は、一人ひとりに命があり、その人らしく輝くこと、新しい朝がくることは、希望を見いだすこと、と教えてくれる音楽だと思っています。

今日は、若竹らしい音楽が会場に広がることを楽しみにしています。

私が一番得意なことは、お好み焼き作りです。

フルート 佐藤玲子

初めて楽譜を見た時には、拍子記号がたくさん変わり、「できるかな～?」と心配になりましたが、歌詞とメロディーがずっと心の中に入ってきて、今では思わず口ずさんでいます。特に「♪テトのパンはあ」の歌がとっても素敵！自転車に乗りながら、よく口ずさんでいます。そして、食べることが一番得意な私としては、テトの作るパンってどんな味なのか、とっても気になっています。

今回は、オーケストラ演奏だけでなく、合唱・手拍子にも挑戦しています。声や手拍子を合わせるって、楽器と同じはずなのですが、結構難しい！と楽器よりもたくさん練習した気がします(笑)。オーケストラの息のあった手拍子に注目してくださいね！

『口はロボットの口』の公演へ向けて

チェロ 田澤則人

今回、この『口はロボットの口』の公演に参加す

ることができて本当にうれしく思っています。

今までオーケストラとしてミュージカルに参加してきましたが、実際に歌う機会はほとんどありませんでした。

しかし、なんと今回はオーケストラも演奏しながら歌うことが出来る！これはとてもうれしい体験です。

普段は参加することが出来ない歌の練習にも参加することが出来たのは、僕にとって大変貴重な体験。おかげでミュージカルの皆さんとさらに仲良くなることが出来ました。

そして、音楽もすでに出来あがっている音楽ではなく、我々若竹ミュージカルのために萩先生がオーケストレーションをしてくださるという、本当に一から音楽を作り上げるという普段では体験することが出来ない緊張感も本当に楽しい体験でした。

こんな新しい体験が出来たこのミュージカル。全力で頑張ります！

バイオリン 多奈田紗彩

新しい演目で、どんな曲かドキドキしていましたが、みんな笑顔になるような演目なので、本番がとても楽しみになりました。ココとココのお父さんがテトのパンを食べて「あ、おいし～い」という場面が大好きで、美味しいものを食べたらこの曲を思い出して、私も笑顔になっています。みなさん一緒に楽しみましょう！

ヴァイオリン 谷口晶子

新しい演目となり、若竹の練習帰りの話題は、「ロボットの口」についてです。「うーん、うーん」というペースで本当に1日に1000個もつくれるのか・・・。1日は24時間だから、86400秒。それを1000で割ると、ひとつのパンを作るのに86.4秒・・・確かにCDを聴くと、ちょうどそのくらいなんです。「うまくできてるね。」「じゃあテトは寝ないで働いてるんだね。」「でもさ、夜中にできたパンはほかほかじゃなくなるよね。」「うーん。」話題はつきません。

今回、オーケストラは歌でも参加をすることになりました。作品の内容をより深く知る機会となり、これも演奏に生かされる大事なことなんだと感じています。今、我が家の車は、カラオケボックスです。

トロンボーン ト

トロンボーン 谷口良二

僕は、トロンボーン吹きです。でも、あまり吹かせません。細かい音は苦手です。高音も苦手です。低音は... 苦手です。音程は微妙です。タンギングは苦手です。リップスラーも苦手ですーうー。テナー記号も苦手です。アルト記号も苦手です。移調楽譜も苦手です。

苦手なものを数えると、両手の指と足の指を足しても足りませぬ。僕が得意なもの、たった一つだけ得意なもの、それはトロンボーンを愛することです。

僕は、トロンボーン吹き「アール・ワイ・オー・ジェイ・アイ・ティー・エー・エヌ・アイ・ジー・ユー・シー・エイチ・アイ」。名前は、谷口良二です。

トランペット 戸田泰幸

初めてCDを聞いたとき「素敵！」と「みんなできるのか?」の二つが頭に浮かびました。特にあの独特のリズム、いったいどうなってしまうのか正直不安でいっぱいでした。しかし始めてみれば皆歌って踊って乗って、気がつけばいつもの若竹ミュージカルに。こんな難しい演目だってできるんだ!と、ガーンとショックを受けたような感動を覚えたのは皆にはナイショです。

僕が一番得意なこと、それはなんでも楽しむことです。何だかってにかくやってみて色々試行錯誤しながら楽しんだもの勝ちです。でもそれって実は若竹のみんなは自然体で実践していることなんですよ。うーん、勉強になります。

ビオラ 平野知佳子

本来はバイオリンパート、今回はビオラパートの平野です。私は芸術学を専攻しており制作からは遠ざかっておりますが、猫に関しては創作意欲が尽きることはありません。ということですが、私の得意なことは猫が好きでいることだと思います。



ヴァイオリン 森永佳代

新しい作品に挑戦するのは、本当に久しぶりです。歌の音程もリズムも難しく、オケもまだ未知の世界... まだまだ練習を始めたばかりです。でも、この作品の雰囲気は、若竹ミュージカルに合っているような気がして、気に入っています。この先も「この曲が好き!」「このセリフいいなあ」「この場面おもしろい☆」とお気に入りが増えていくのが楽しみです♪

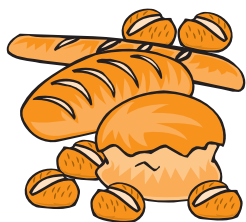
ちなみに、私の得意なことは...「風邪をひかないこと」と「正しい書き順で漢字を書くこと」です。

### 光るものを見つける

チェロ 鷲頭まり子

得意な事は今はチェロを弾くこと、と言いたいけれど残念ながら得意というには程遠い腕前です。チェロを弾くのは好きなこと。では得意なことは...胸を張れることは...う〜んないです。

だからテトは偉い。で、子供のころ得意だったのは道端に落ちているキラッと光るものを見つけて拾ってくること。誰かが落としたイヤリングの片方とかガラスのかけらとか。実は大人になった今でもそういうものが目に付いて仕方ないけれど、さすがに拾うわけにはいかず我慢している。雨がりの草についたしずくとか冬の朝日に光るビー玉とか大好き。若竹ミュージカルは人生で見つけた一番光ってるものかな。新しい演目はどんな風に光るか楽しみです。



## 支援者

會澤加奈子

とっても美味しそうなパンが食べたいオペラ、テトとその周囲のロボットや人々の愛情をいっぱい感じられるオペラ、歌えば歌うほど深みと温かみを感じる作品に、まだまだ作品理解が不足しているかと思いますが、今の時点での精一杯を演じられればと思っています。

安東恵美

若竹ミュージカルで初めて取り組む『口はロボットの口』。たくさんある歌の中で、すてきな言葉と出会いました。

パン製造ロボットのテトが歌う歌の中に、「たった一つだけよりも好きだと言えること...それはパン作り、楽しいパン作り」とあります。私のたった一つは何だろうと考えました。それはやっぱりミュージカルです。仲間と一緒に一つのものを作り上げること、練習の時に目と目で会話すること、同じ気持ちで同じ空間で時を過ごすこと、すべてがとても気持ちいい、大切な時間になっています。

好きだからこそ続けられる、このチャレンジはずっと続けていきたいと思っています。

鈴木千夏

①『口はロボットの口』とっても耳に残る楽しい音楽がいっぱいです!!

難しい曲もあるけれど若竹のみんなと一緒に歌える事が本当にうれしいです。

ジェットコースターみたいな曲に振り落とされないように一生懸命ついていきます!!

②ぐうたらすることです!

立山直子

エピローグの楽譜を初めて弾いてみたとき、「なんてさわやかな和音進行、道が開けていく感じ!」と、すぐにこの曲が好きになりました。他の曲も、みない曲。

でも、重くならないよう、正しいリズムで、色彩を生かした音にするのは、私にとって課題が高い。まずは皆が歌いやすく弾けるように。難しいけれど、希望を持ち続けて...、そんな気持ちで取り組んでいます。

「やるしかないっ!」

橋本明子

私が日頃からよく自分に言い聞かせている言葉です。が...、新たな作品『口はロボットの口』に取り組む自分自身の練習スイッチを押すのが遅すぎて、反省しながらこの原稿を書いている現在...。

でもみんなと練習しているうちに、遅すぎですが、スイッチ ON! 練習モード MAX !! です。

とっても難しい曲たちですが、こんなステキな音楽たちに...、こんなステキな作品と出会えたことに...、挑戦できることに感謝しています!

私の特技、よく食べ、よく寝る(どこでも)、これで健康を維持して本番に向かいます☆

『口はロボットの口』と掛けて...

支援者 福井滉

今年の5月公演の後から練習を始めた新曲『口はロボットの口』は、私達がここ10年来歌ってきた「屋根の上のヴァイオリン弾き」や「サウンド・オブ・ミュージック」とは違った斬新な響きがあります。曲の随所に転調が仕掛けられていて、私の頭の中の古い歯車はギシギシと音を立てています。それでも繰り返し歌っていると段々自然に聞こえてくるから不思議です。もっともっと自然体で歌えるよう今後も練習を重ねて行きたいと思っています。最後に私の得意なもの、謎掛け問答をひとつ。『口はロボットの口』と掛けて...「コンビニでの噂話」と解く。その心は...「店長が聞いてます」(転調が効いてます)。おそまつでした。

あん製造ロボット～なまえはアンコ

支援者 福井晴美

最初に『口はロボットの口』のCDを聴いた時、なんて現代的、健康的、そして大人も子供も引き込んでしまう魅力ある曲なのだろうと思いました。そのせいか「疲れを知らないロボット」のように?練習に励むことができ、嬉しいことに、時々出てくる変拍子にも、ついていけるようになったのです。

さて、得意なことですが、主人公のテトはパン作り。ワタシの場合、強いて言えば和菓子作りかな?でも、その中で最も苦手なものは、あんづくり。あんづくりでは高温のあんが飛び散るため火傷が絶えません。今、楽ちん、楽ちんの世界に憧れているワタシは『あん製造ロボット』を募集中なので～す。

アンコ! ついでに後片付けも、おねがいね!!

三砂良美

『初めてだけど、なつかしい?』初めてこの作品に出会ったとき、音楽も歌詞も、ずっと自分の中に入ってきたことをよく覚えてきます。とても明るくて、元気になる音楽とお話なので、すぐに好きになりました。歌には、馴染みの深い季節の風景や、おいしそうな香りがたくさん表現されています。その風景や香りを感じていただけるように、言葉を大切にしたいと思っています。

私の得意なこと...?

三輪禎子

今年は新作『口はロボットの口』に取り組みます。第一印象「こんな難しいのをやるかな?やるの-?」でした。でも、やるからにはやらねば...と思ってこの頃です。

さて、私の得意なこと... 忘れた! そうだ「忘れること」は得意だな。忘れることがないと覚えられない...とは、言い訳。でもホントに得意です。人の名前も聞いたけど忘れる、台詞も歌詞も覚えたと思うのに忘れている...。なあって、忘れるのが得意なんでしょう!

山本正子

「あなたの得意なことは?」改めて問われると、なかなか答えられない。「得意なことはパン作りです!」とごく自然に胸を張って言えるテトがうらやましくなってしまう。その上、その得意なことが好きなことで、自慢のできることなのだから更にうらやましい。何かないかと無理に考えれば、どんな場所でもすぐ眠れる!なんてことは出てくるのだが...。今は見つけることができなかったが、焦らず今できることを着実にやっていけば、得意な事になるかもしれない。新しい演目『口はロボットの口』にしっかり取り組み、今はまだ不安な難しい音を正確にとれるようにしていこう。



## 若竹ミュージカルの沿革

1993. 7 東京学芸大学教育学部附属養護学校  
開校40周年記念若竹ミュージカル 発足
1993. 8.1 第1回オリエンテーション  
演目決定 『サウンド・オブ・ミュージック』
1994. 1.15 ラジオジャパンにて1月9日の練習風景放送  
1.16 若竹会新年会にて、歌を披露  
1.22 東久留米市にぎやかカーニバル出演 (於 東久留米市中央公民館)
1994. 6.15 開校40周年記念式典行事参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
8.6～7 合宿練習 (於 養護学校)  
10.16 若竹まつりにて『サウンド・オブ・ミュージック』上演  
11.3 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『サウンド・オブ・ミュージック』公演  
東京学芸大学管弦楽団と共演  
(NHK ニュース及び「NHK こどもの療育相談」に取りあげられる)  
12.1 東久留米市にぎやかカーニバル出演 (於 東久留米市中央公民館)
1995. 6 若竹ミュージカルを上演する会発足  
9 9月より正嘉昭先生から演技指導を受ける  
11.2 福祉文化会主催福祉文化総大会参加 (於 横浜ラポール)  
12.1 座談会—ミュージカルが「癒す」もの— (演劇と教育 1996年3月号掲載)
1996. 12.9 東久留米市にぎやかカーニバル出演 (於 東久留米市中央公民館)  
3 演目を『ウェスト・サイド・ストーリー』に決定  
4 東京学芸大学管弦楽団OB・OG及び現役の有志により  
ウェストサイドストーリーオーケストラ編成  
指揮者に広井隆先生を迎える  
8.3～4 オーケストラとの合宿練習 (於 養護学校)  
10 若竹まつりの若竹おどりにて歌と踊りを披露  
11.3 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『ウェスト・サイド・ストーリー』コンサート  
ウェストサイドストーリーオーケストラと共演
1997. 1 広報紙GO2ブロードウェイ発刊 (2010年11月現在178号)  
1997. 5 オーケストラとの交流会 (於 奥多摩)
1997. 8.9～10 オーケストラとの合同合宿練習 (於 養護学校)  
ウェストサイドストーリーオーケストラを  
若竹ミュージカルオーケストラと改称  
舞台監督に宮上直也氏 (故人) を迎える  
10.11 『ウェスト・サイド・ストーリー』公演 (於 三鷹市公会堂)  
11.2 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『ウェスト・サイド・ストーリー』公演  
'97山の都ふれあいコンサート参加 (於 山梨県民文化ホール)  
『ウェスト・サイド・ストーリー』公演
1998. 5.3 オーケストラとの交流会 (於 養護学校)  
6.14 日本発達障害学会33回研究大会特別公演 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『ウェスト・サイド・ストーリー』コンサート  
8.8～9 オーケストラとの合同合宿練習 (於 養護学校)
1999. 3.7 『サウンド・オブ・ミュージック』コンサート (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
5.2 オーケストラとの交流会 (於 養護学校)  
8.7～8 オーケストラとの合同合宿練習 (於 中央アルプス駒ヶ根)
2000. 1.10 東京都官・ろう・養護学校総合文化祭「舞台芸術・演劇祭」特別出演  
『サウンド・オブ・ミュージック』(第1幕より) 上演 (於 東京芸術劇場中ホール)  
舞台監督に黒木辰男氏を迎える  
3.5 『サウンド・オブ・ミュージック』(第1幕より) 公演  
(於 所沢市民文化センター・ミュージズ)  
8.19～20 オーケストラとの合同合宿練習 (於 養護学校)  
10.9 『サウンド・オブ・ミュージック』全幕公演  
(於 所沢市民文化センター・ミュージズ)  
11.5 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)

- 『サウンド・オブ・ミュージック』全幕公演  
2001.1 次回演目を『屋根の上のヴァイオリン弾き』に決定  
5.4 『サウンド・オブ・ミュージック』全幕公演  
(於 リューとびあ新潟市民芸術文化会館・劇場)  
8.11～12 オーケストラとの合宿練習 (於 養護学校)  
11.3 若竹ミュージカル映像制作部による「ドキュメント新潟公演」完成  
11.4 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
「ドキュメント新潟公演」上映会&出演者と語る会
2002. 8.10～11 オーケストラとの合同合宿練習 (於 養護学校)  
11.3 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』コンサート
2003. 8.9～10 集中練習 (於 養護学校、ルネこだいら)  
11.2 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』第一幕より
2004. 1.10 若竹会「新年会・成人式」にて、『屋根の上のヴァイオリン弾き』から一部を披露  
(於：成美教育文化会館 グリーンホール)  
3.28 「しずおかおもちゃ図書館開館20周年記念」コンサートに出演  
(於 静岡市民文化会館大ホール) 『屋根の上のヴァイオリン弾き』全幕公演  
8.7～8 集中練習 (於 養護学校)  
10.31 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』全幕公演
2005. 1.23 広報紙GO2ブロードウェイ100号発刊  
5.8 東京公演 (於 武蔵野市民文化会館大ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』全幕公演  
「僕たちのブロードウェイ」発行  
11.6 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『若竹ミュージカル12年の軌跡』コンサート
2006. 5.6 若竹ミュージカルコンサート東久留米公演、『僕たちのブロードウェイ』  
(於 東久留米市立中央公民館ホール)  
7.22～23 オーケストラとの合同合宿練習 (於 藤野芸術の家)  
11.5 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『サウンド・オブ・ミュージック』ハイライト版
2007. 3.23 第1回附属学校の輪・カーニバルに参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
7.14 若竹ミュージカル公演『サウンド・オブ・ミュージック』全幕 (於 ルネこだいら)  
8.19 わくわくコンサート5周年記念公演に出演 (於 長崎ブリックホール)  
『サウンド・オブ・ミュージック』全幕公演  
11.4 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『サウンド・オブ・ミュージック』全幕公演
2008. 3.22 第2回附属学校の輪・カーニバルに参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
11.2 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』ハイライト版
2009. 3.20 第3回附属学校の輪・カーニバルに参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
11.1 小金井祭 (東京学芸大学学園祭) 参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』全幕公演
2010. 3.20 第4回附属学校の輪・カーニバルに参加 (於 東京学芸大学芸術館ホール)  
5.2 2010若竹ミュージカル公演 (於 武蔵野市民文化会館大ホール)  
『屋根の上のヴァイオリン弾き』全幕公演  
7.24 筑波大学附属久里浜特別支援学校「きらきらコンサート」に出演

〒203-0004  
東京都東久留米市氷川台1-6-1  
東京学芸大学附属特別支援学校内 (電話042-471-5274)  
若竹会  
若竹ミュージカル

## テトのパンはあ

テトのパンはあ

あいうえおのあ

忘れていた青空のあ

いつまでも見つめ続けていた

ああああ

あの遠い夏の日の 青空のあ

テトのパンはあ

あいうえおのあ

夕焼けのあかね雲のあ

どこまでもあかたんぼ追いかけていた

ああああ

あの遠い秋の日のあかね雲のあ

テトのパンはあ

あいうえおのあ

白い息のあぜみちのあ

さくさくと霜柱ふみしめた

ああああ

あの遠い冬の日のあぜみちのあ

テトのパンはあ

あいうえおのあ

あたたかい雨上がりのあ

水たまりに桜の花びらが浮かんでいた

ああああ

あの遠い春の日の 雨あがりのあ

テトのパンはあ

あいうえおのあ

晴れた日も曇った日も雨の日も

哀しい時も苦しい時も淋しい時も

やって来る

朝のあ

新しい希望と新しい喜びと

新しい元気が窓叩く

朝のあ

ああああ

新しい朝のあ

